

# 社会資本総合整備計画

弘前公園を中心とした歴史・文化を発信する  
交流拠点の形成と安全で安心な都市公園づくり

## 第2回変更

青森県弘前市

平成30年3月20日

## 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 弘前公園を中心とした歴史・文化を発信する交流拠点の形成と安全で安心な都市公園づくり			重点計画の該当	
計画の期間	平成28年度	～	平成32年度 (5年間)	交付対象	弘前市
計画の目標					

弘前公園（鷹揚公園）を始めとする市内の都市公園には老朽化や危険性のある施設があり、市民や観光客に対して歴史的価値及び景観並びに機能面・安全面で不具合が生じている。  
また、中心市街地には様々な歴史的・文化的資源が集積し、さくらまつりやねぶたまつりなど全国的に知名度が高いまつりが開催されているが、まつり期間以外では、中心市街地を回遊する観光客も少なく、その資源が十分に活かされていない状況にある。  
このような中、弘前公園内の老朽化している各施設や中心市街地の緑地等の整備により、市民の福祉の増進を図るとともに、歴史的・文化的施設を有効活用することによる魅力ある環境を構築することで、弘前公園及びその周辺地区に立地する観光施設等の利用増進による中心市街地における通年での活性化を図る。  
さらに、安全で安心な公園環境を構築するため、処分制限期間を経過し、且つ危険度判定調査において、改善が必要とされた公園施設を改修更新するとともに、長寿命化計画を策定し公園施設の予防保全的管理を行う。

計画の成果目標（定量的指標）																
・公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合を 0% (H28当初) から 48.8% (H32) にする																
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値											
・公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合（累計改築済公園施設数／改築が必要な公園施設数）					当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考								
					(H28当初)	(H30末)	(H32末)									
					0.0%	22.1%	48.8%	要素事業：A-3, 4								
全体事業費					合計 (A+B+C+D)	892百万円	A	892百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合	0.0%

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
A-1	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	都市公園事業（鷹揚公園）	休憩施設等整備 A=48.9ha	弘前市						363	H30より別事業にて実施
A-2	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	中心市街地活性化広場公園整備事業	市民中央広場における施設等整備	弘前市						3	H29より別事業にて実施
A-3	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	公園施設長寿命化対策支援事業	遊戯施設等の更新・改築等	弘前市						506	
A-4	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	弘前市公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定	弘前市						20	
合計													892		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

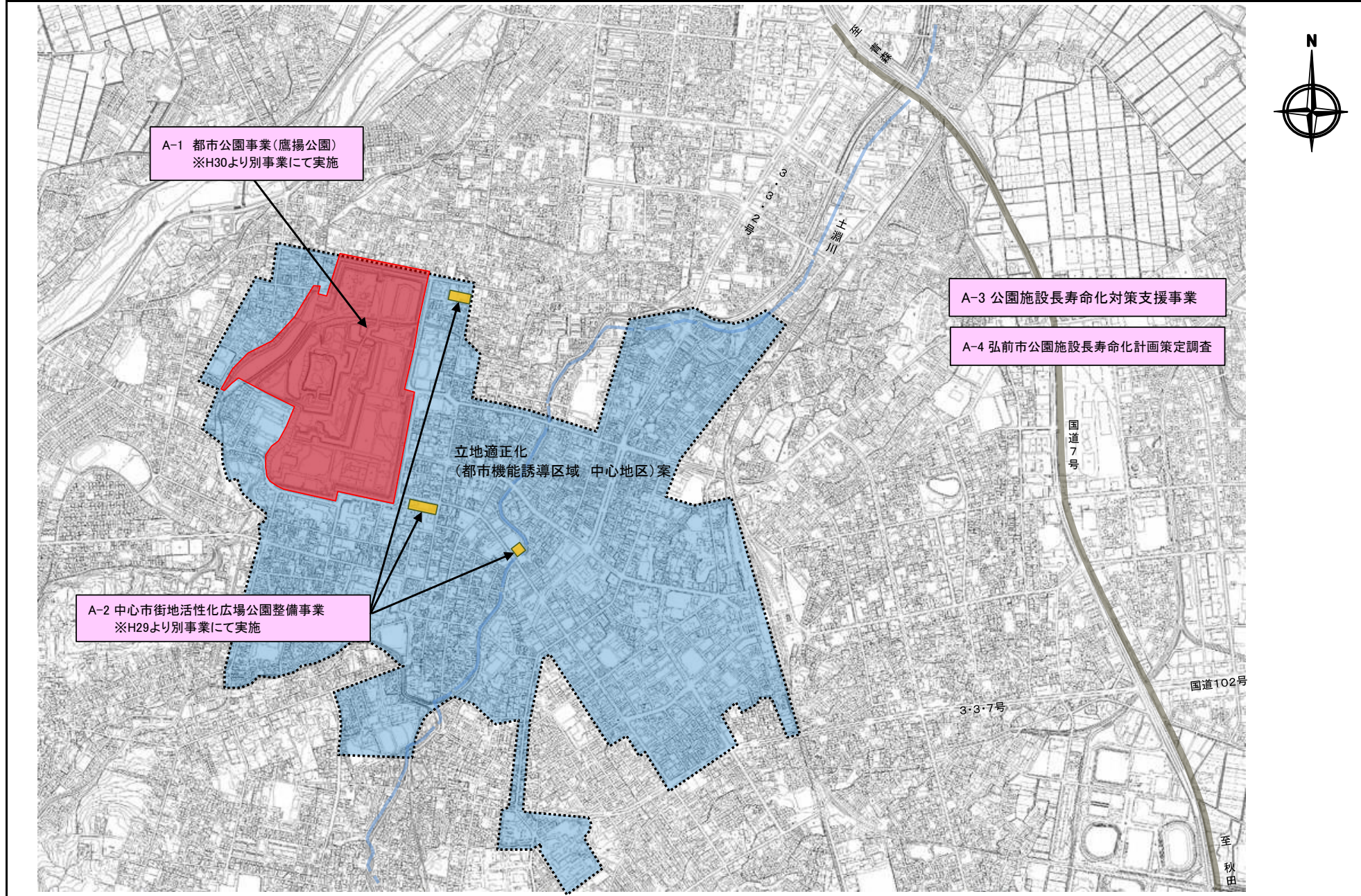
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2
配分額 (a)	231	75	16	25	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	231	75	16	25	
前年度からの繰越額 (d)	0	150	20	0	
支払済額 (e)	81	204	36	25	
翌年度繰越額 (f)	150	21	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	150	21	0	0	
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h=(g+h)/(c+d))	64.93%	9.33%	0.00%	0.00%	
未契約繰越＋不用率 が10%を超えている 場合その理由	文化庁の現状変更許可において、建物の配置や遺構の整備方法についての事前協議並びに弘前城跡整備指導委員会での了承に不測の日数を要した。				

(様式3) (参考図面)

計画の名称	1 弘前公園を中心とした歴史・文化を発信する交流拠点の形成と安全で安心な都市公園づくり	交付対象	弘前市
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)		



# 社会資本整備総合交付金事前評価

## 1 社会資本総合整備計画の概要

項目	内容
計画名称	弘前公園を中心とした歴史・文化を発信する交流拠点の形成と安全で安心な都市公園づくり
事業主体	弘前市
事業期間	平成28年度～平成32年度
総事業費	892百万円
基幹事業	都市公園事業(鷹揚公園) 中心市街地活性化広場公園整備事業 公園施設長寿命化対策支援事業 公園施設長寿命化計画策定調査

## 2 事前評価

I. 目標の妥当性	理由
①上位計画等との整合性	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や学識経験者からなる会議、世論調査などを基に策定している「弘前市経営計画」において、鷹揚公園整備及び安全で安心な都市公園整備を進めることとしている。</li> <li>・弘前市中心市街地活性化計画の基本方針において、「出かけたくなる賑わいと魅力のあるまち」「歴史・文化と触れ合える観光のまち」の推進することとなっており、中心市街地における公園等の整備を進めることとしている。</li> <li>・公園施設等など老朽化に対する安全対策の強化を図るため「弘前市公園施設等長寿命化計画」を策定し、計画的な改築・更新を進めるとともに、市民団体などと連携を図りながら公園施設の適正な管理を推進することとしている。</li> </ul>
②地域の課題への対応 (地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能面・安全面の不具合を解消し、歴史・文化的資源を十分に生かし、市民の福祉増進と中心市街地の活性化を図る。</li> <li>・老朽化・危険性のある施設を改修更新することで、安全で安心な公園環境を構築する。</li> </ul>
II. 整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○ 整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。
②定量的指標の明瞭性	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化区域内の主な観光施設利用者数は、中心市街地区域内にある弘前公園(鷹揚公園)及び立地適正化に基づく都市機能誘導区域内にある中心市街地活性化広場公園整備による効果を表すことから、目標達成に適した指標である。</li> <li>・弘前市公園施設長寿命化計画における危険度判定で更新改修が必要な施設の割合は、安全で安心な公園環境及び予防保全的管理ができていることを把握する適した指標である。</li> </ul>
③目標と事業内容の整合性	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営計画において「鷹揚公園整備事業」としており、計画の目標と整合している。</li> <li>・公園施設の老朽化に対する安全対策の強化に向けた事業を「弘前市公園施設長寿命化事業」としており、計画の目標と整合している。</li> </ul>
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹揚公園整備と中心市街地活性化広場公園事業を一体的に進め、安全で快適に利用できる公園・広場等の整備により、住民及び観光客の利便性が向上し、中心市街地の活性化へつながる。</li> </ul>
III. 整備計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や学識経験者からなる会議、世論調査などを基に「弘前市経営計画」を策定しており、住民等の意見を反映した公園整備計画を策定している。</li> <li>・弘前市公園施設長寿命化計画及び町会からの要望等により公園整備を行うこととしている。</li> </ul>
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前公園及び中心市街地エリアにおいて、住民や観光客が参加するまつりや、住民や民間団体等が主体となり各種イベントが開催されており、弘前公園(鷹揚公園)及び都市公園等が利用されている。</li> <li>・町会等の協力により都市公園等の管理がされている。</li> </ul>